

## 第6学年 体育科学習指導案

日 時 平成22年9月9日(木) 3校時

場 所 体育館

児 童 6年1組(男子15名 女子14名 計29名)

指導者 高橋 美奈子

### 1. 単元名 「強く大きく美しく! 跳び箱運動」(B 器械運動 ウ 跳び箱運動)

### 2. 目標

〈関心・意欲・態度〉

- ・ 友だちと協力しながら学習に取り組み、教え合ったり励ましあったりしながら学習を進めようとする。
- ・ ルールやマナーを守り、安全に留意しながら進んで運動に取り組もうとする。

〈思考・判断〉

- ・ 自分やグループの課題を見つけ、技のポイントを意識したり練習の仕方を工夫したりしながら運動している。

〈技能〉

- ・ 基本的な回転系の技である安定した台上前転や大きな台上前転ができる。

### 3. 単元について

#### (1) 教材について

「器械運動」は、器械・器具を使った「技」に取り組んだり、それを達成したりした時に楽しさや喜びを味わうことができる運動領域である。また、より困難な条件の下でできるようになったり、より雄大で美しい動きができるようになったりする楽しさや喜びがある。

「跳び箱運動」は、安定した動作で、いろいろな高さや向きの跳び箱を跳び越したり、跳び越し方を工夫して挑戦したりすることが楽しい運動である。また、一人ひとりができる技を組み合わせ、調子を合わせて集団で演技に取り組むことを楽しむことができる運動である。

#### (2) 児童の実態について

体育の学習に意欲を持って取り組む児童が多い。男子の中には運動能力が高い児童が数名おり、陸上記録会や昨年度の球技大会で活躍した。一方女子は、全体的に運動能力があまり高くなく、体育に対して苦手意識を持っている児童も数名いる。

1学期の鉄棒運動では、肥満傾向の2名の児童が逆さになることや前まわり下りを怖がり補助を必要としたが、下にマットやタイヤを置くことで自分の力でできるようになった。

5年生の跳び箱運動では、基本的な切り返し系の技と回転系の台上前転を学習し、台上前転の発展技の首はね跳びや頭はね跳びに挑戦した児童もいる。7月に児童の技調べ(実態調査)を行ったところ、技ができていない児童は、開脚跳び全員、抱え込み跳び15名、台上前転27名、膝伸ばし台上前転14名、首はね跳び10名、頭はね跳び5名という結果であったが、どの技も一連の動きとしてスムーズに跳び越えたり、安定した着地をしたりすることができていない児童が少なくない。

跳び箱運動を好きと感じている児童は11名と少ないが、「上手に跳ねることができるようになりたい」「きれいな台上前転ができるようになりたい」等、跳び箱運動の学習に対し前向きな気持ちを持っている児童が多い。

### (3) 指導について

本単元では、安定した台上前転と大きな台上前転ができるように、そして発展技のはね跳びに挑戦できるようにするために、基礎的な感覚や動きづくりを大切にする。跳び箱セットメニューとして①ステージへの跳び上がり・回転下り、②セーフティマットの前転、③うさぎ跳びからの前転 ④手押し車からの膝伸ばし前転、⑤馬跳び、⑥アンテナブリッジを単元を通して取り入れていく。

主運動の際には、自分の課題を解決するための練習の場や練習方法を選ばせたり、技のポイントを考えさせたりする。そのために、今自分がその技のどの段階までできていて、次の課題は何か分かるような資料を提示する。

学習のまとめとして「集団跳び発表会」を設定する。その発表会に向け、毎時間集団跳びの練習をする時間を設定する。初めは開脚跳びでの8の字跳びから始め、個々の技の習得状況に応じて取り入れる技をグループで相談し、集団跳びのバリエーションも増やしていく。集団跳びに取り組むことで、グループで技を高める必要感が生まれたり跳び箱運動への意欲が高まったりすると考える。

グループは、技能や意欲を考慮した男女混合4～5名ずつの異質グループでセットメニュー・基本的な技の学習・集団跳びを行う。基本的な技の学習では、異質グループで課題を解決する活動を取り入れ、できるようになるコツを探究させることで、技の仕組みやポイントが見つけれられるようにする。発展学習では、同質グループで練習の場や段階を選び互いに教え合い励まし合いながら共に高め合えるようにする。

#### 【研究とのかかわり】

〈本授業での重点テーマ〉

##### ① 教材及び単元計画の工夫・改善

- ・ 単元を通して安定した台上前転・大きな台上前転に取り組むことで、できた喜びや出来栄の美しさを味わわせたい。
- ・ 6年生までに習得してきた技や本単元で習得する自己の能力に適した技を活用できるように、友だちとリズムやタイミングを合わせて跳ぶ集団跳びを毎時間の学習に位置付ける。

##### ② 運動ポイントの活かし方

- ・ セットメニューが基礎的な動き・基本的な技になっていることを理解させ、運動のポイントを考える時のヒントとする。
- ・ 児童がポイントを理解し、意識して練習できるような場を設定する。

##### ③ 運動の特性に即した活動の取り入れ方

- ・ 技の系統性に即して基礎的な感覚づくりや動きづくりをし、児童の技能を高めていきたい。
- ・ 今自分がその技のどの段階までできていて、次の課題は何か分かるような学習の進め方をしたり資料を準備したりし、児童が見通しを持って意欲的に学習に取り組めるようにする。

#### 4. 指導計画

時	1	2	3	4	5	6 (本時)	7	8	
15	オリエンテーション ・学習のねらい	セットメニュー(①ステージへの跳び上がり・回転下り ②セーフティマットへの前転 ③うさぎ跳びから前転 ④手押し車から膝伸ばし前転 ⑤馬跳び20秒 ⑥アンテナブリッジ)							
30	・学習の進め方 ・セットメニュー	<基本> 安定した台上前転大きな台上前転							集団跳び 発表会
	・場づくり	<発展>首はね跳び 頭はね跳び							
45	・安全の約束	集団跳び 学習の振り返り							

#### 5. 評価の計画

時間	主な学習活動	学習活動における具体的評価規準 (B:概ね満足できる状況) A:十分満足と判断できる状況		
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
1	・オリエンテーション ・学習の見通しを持つ。 ・授業の流れを把握し、約束事を確認する。		・学習のねらいや進め方を理解し(A:見通しを持つ)とする。	
2	・安定した台上前転の基礎技能を身につける。		・安定した台上前転のポイントについて、(A:自分の体験や動きを基に)考えている。[発言・ノート]	・安定した台上前転ができる。  [観察]
3	・大きな台上前転の基礎技能を身につける。	・(A:自ら進んで)準備や後片付けで分担された役割を果たそうとする。[観察]		・(A:腰を大きく開いた)大きな台上前転ができる。  [観察]
4	・安定した台上前転や大きな台上前転の基礎技能を身につける。 ・はね跳びの基礎技能を身につける。	・技のポイントについて教え合ったり補助し合ったりしながら(A:積極的に)練習しようとする。[観察]		・(A:ゆっくり)安定した台上前転をしたり、(A:腰を大きく開いた)大きな台上前転をしたりすることができる。 [観察]

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に合った技を選び挑戦する。</li> <li>・集団跳びの構成を考え練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で選んだ技の学習に（A：自ら進んで）取り組もうとする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の力に合った技を選び、（A：技のポイントを考えて）練習の場や段階を選んでいる。</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に合った技を選び挑戦する。</li> <li>・集団跳びの構成を考え練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（A：積極的に）集団跳びの技や構成を話し合い、練習しようとする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【観察】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団跳びの構成や技の組み合わせなどを（A：仲間や自分の技能を考えて）工夫している。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【発言・ノート】</p>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団跳び発表会に向けて練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちと助け合って練習したり、場の安全に気を配ったりする。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【観察】</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した台上前転や大きな台上前転（A：及び発展技）ができる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【観察】</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団跳び発表会をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの発表から良い点を（A：進んで）見つけている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">【発言・ノート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムやタイミングを合わせて（A：大きな動作で）演技を行うことができる。【観察】</li> <li>・（A：跳び箱で）はね動作ができる。</li> </ul>
<p style="text-align: center;">努力を要する状況に対する 支援の手立て</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備や後片付けの仕方を具体的に教える。</li> <li>・励ましたり賞賛したりしながら学習に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる段階にフィードバックしたり、できている友だちの演技を見せたりしながら指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助をする。</li> <li>・スモールステップの前の段階に戻って練習させる。</li> </ul>

7. 本時の指導

(1) 本時の目標 (6 / 8)

- ・自分の力に合った技の練習の場や段階を選んだり、集団跳びの技や組み合わせを工夫したりしている。
- [思考・判断]

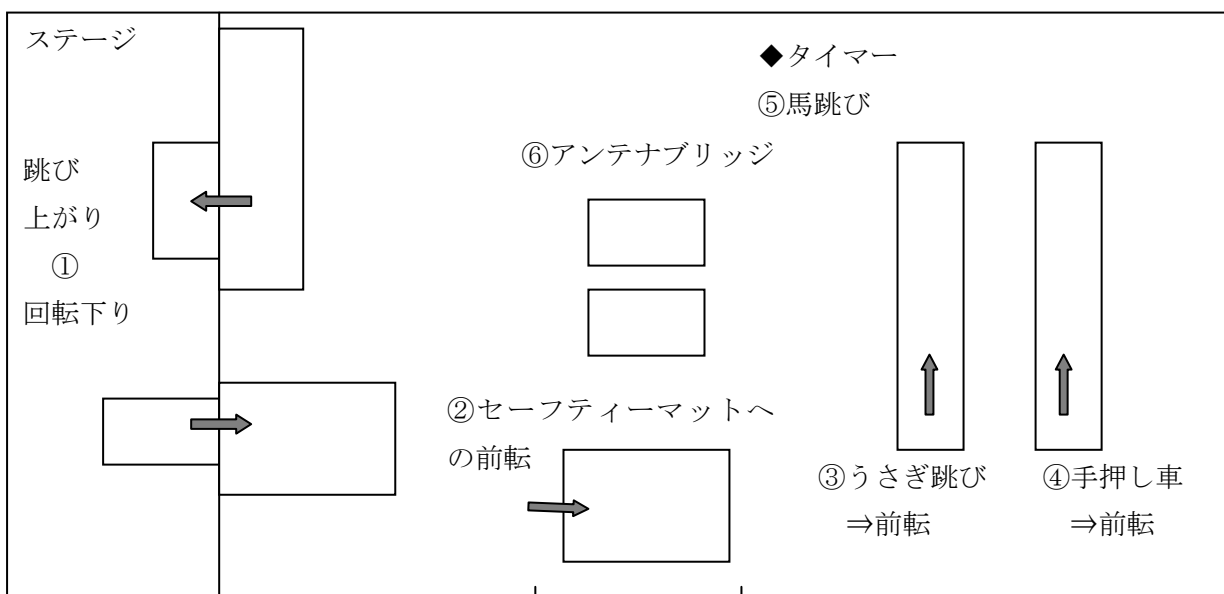
(2) 展開

段階	学習活動	時間	指導・支援上の留意点 (○) 研究に関わる手だて (◎) 評価規準 (☆) 評価方法 (*)	用具 資料
導入	<p>1. 場づくり・挨拶</p> <p>2. 学習内容の確認</p> <p>3. セットメニュー [場1]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージへの跳び上がり・回転下り</li> <li>・セーフティマットへの前転</li> <li>・うさぎ跳び⇒前転</li> <li>・手押し車 ⇒膝伸ばし前転</li> <li>・馬跳び30秒</li> <li>・アンテナブリッジ</li> </ul>	10	<p>○事前に健康観察、服装、用具、場所の安全を確認しておく。</p> <p>○跳び箱セットメニューの場づくりをし、終わり次第挨拶をさせる。</p> <p>○本時の学習を確認させる。(課題は教室で体育ノートに記入させておく)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>リズムに合わせて集団跳びができるように、入れる技やタイミングの合わせ方を工夫しよう</p> </div> <p>○セットメニュー6種類をグループごとにローテーションで行なわせる。</p> <p>○ステージからの回転下りの補助を中心に行う。</p> <p>○ステージからの回転下りではね動作ができていない児童を褒める。</p> <p>○うさぎ跳び⇒前転 両手で体重を支えてから、腕を曲げ頭を入れて前転をさせる。</p> <p>○セーフティマットへの前転は、腰を高く上げて前転できるようにさせる。</p> <p>◎各運動を正確に行わせ、基礎的な能力や感覚を高められるようにする。</p>	<p>ノート</p> <p>筆記用具</p> <p>跳び箱</p> <p>踏み切り板</p> <p>ロイター板</p> <p>マット</p> <p>エバーマツト</p> <p>CD</p>

展開	4. 安定した台上前転、大きな台上前転の練習 [場2]	30	◎グループごとに練習に取り組ませる。今まで学習したポイントをもとに見てほしい点を仲間に伝えアドバイスし合うようにさせる。	ゴム+鈴
	5. 首はね跳び・頭はね跳びの練習[場3]		○自分に合った技と場を選ばせ、同じ場の仲間です補助したりポイントをもとにアドバイスさせたりする。	クッション
	6. 集団跳びの練習 [場4]		◎グループで考えた集団跳びを練習させる。その際、安定した台上前転や大きな台上前転を共通課題として入れるようにさせる。できるようになった技も積極的に取り入れるようにさせる。 ○集団跳びのパターン例を参考にさせる。 ○演技は1分程度とし、タイミングやリズムを取りやすくするため音楽を利用する。 ○ペアグループを作り、お互いの演技を見合いアドバイスし合うようにさせる。 ○1つ1つの技を丁寧にできるようにさせる。 ☆自分の力に合った技の練習の場や段階を選んだり、集団跳びの技や組み合わせを工夫したりしている。 (思考・判断) *練習の観察	CD 集団跳び プランカード
終末	7. 学習のまとめ 8. 挨拶・後片付け	5	○本時を振り返り、技や集団跳びの出来ばえについて自己評価させる。	ノート 筆記用具

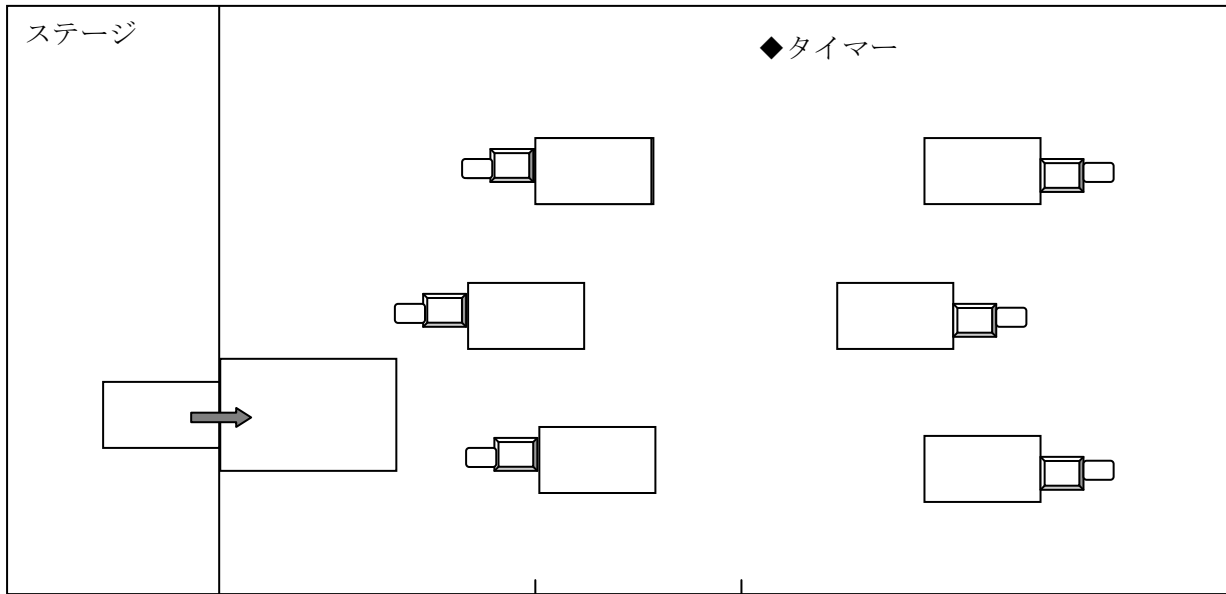
## 6. 場の設定

### [場1]

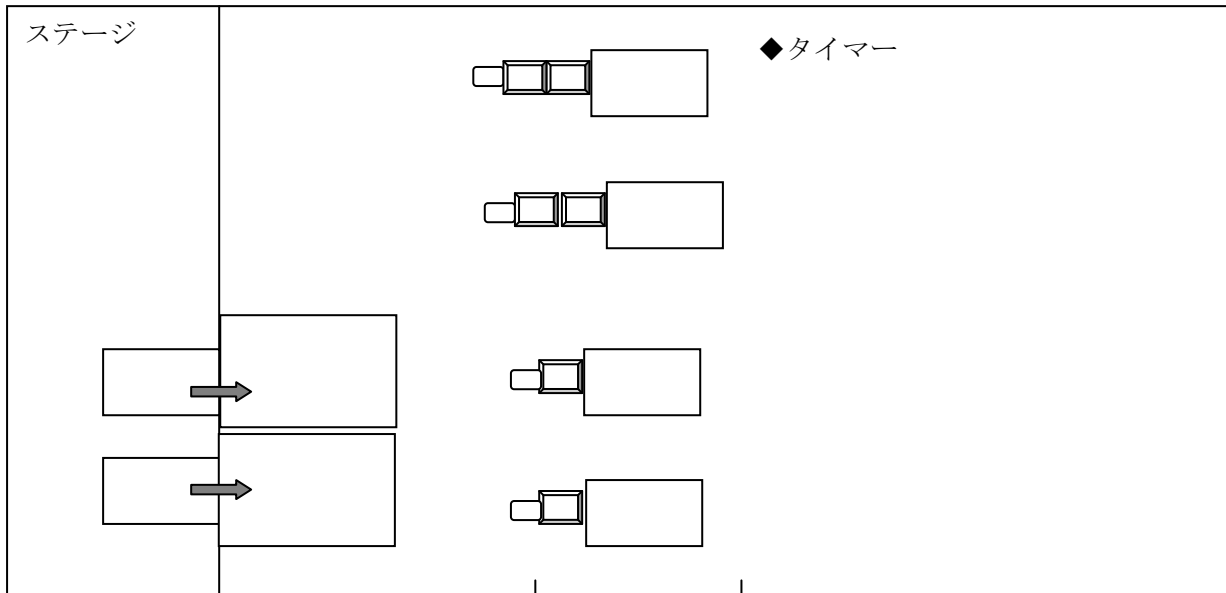


ろく木

[場2]



[場3]



[場4]

